



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：2021年8月1日（第85号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL (88) 6639 FAX (88) 3231

2021年度総会も書面開催となりました

エコパートナーでは、新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年の総会も書面によるものとし、会員への総会資料の送付をもって総会の開催にかえさせていただきました。

活動計画と運営委員の追加・交代について

現在、全国で新型コロナウイルスワクチンの接種が進められていますが、現時点ではエコッキング等、参加者を募るイベント等の実施は当面見合わせものとし、会報誌等により、会員及び住民に対して有益な情報の発信につとめるものとしします。

「住民・事業者・行政の協働」により活動するエコパートナーには、それぞれの立場を代表する運営委員を選出していますが、このたび、新規追加と団体選出運営委員の交代が行われました。なお、任期は他の運営委員同様、2021年度中とします。

運営委員の追加・交代

新規：岩瀬剛二氏

交代：藤本英樹氏（商工会）

熱中症と節電対策

今年も梅雨が明けた7月19日から連日猛暑日が続いています。開催中の東京オリンピックでも、参加選手は対戦相手だけでなく、日本の夏の猛暑とも戦わなければなりません。

この夏も、節電は意識しつつも、熱中症にならないよう、対策が必要です。

京都府南部最高気温平均の推移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020
7月	31.8	32.8	33.3	35.1	30.8	29.5
8月	33.5	34.6	33.4	35.1	34.3	36.2
9月	27.6	29.7	28.2	27.3	30.9	30.1

過去6年間の7月～9月の最高気温平均をみると、昨年8月は平均気温が最も高い年でした。

今年は7月28日時点で昨年より平均気温が3.1℃高く、8月も高温が続くと思われます。

冷房効率と節電の両立を図るには、空調機器を更新するのがよいとされます。

京都府では、「おいしい京都当たります」として、省エネ家電買い替えキャンペーンを展開しています。

<https://oishikaden.kcfca.or.jp/2021/>

・応募対象：京都府在住者

・応募期間：8月31日（火）まで

・応募方法：専用ホームページまたは応募用紙にて

「省エネ型エアコン買い替えコース」

省エネ型エアコンを新規購入すると、抽選で京都の特産品や商品券が当たります

「熱中症予防対策コース」

アンケートに答えて熱中症予防対策宣言をした方は危険度を音声で知らせる温湿度計が抽選で当たります

ボランティア雑感

芦原 昇

ボランティア活動を長く続けていると、充実期もあれば、気が滅入る時期もやってくる。無報酬という隠れ蓑に身を隠したり、活動できないことを年齢やコロナ禍のせいにしたたり、目立った実績が上がらないことを嘆いてみたり。そんなおり、最近ボランティア活動の基本となるようなことがあったので、紹介したい。

1つは城陽市のOさん。城陽市の環境ボランティアに携わる方だが、確か自分より年上。このOさんが目を輝かせながら、「芦原さん、お年寄りに楽しいことを経験してもらおうと、地域の老人クラブを立ち上げました。」この目の輝き。ボランティア活動は、自らが楽しく感じることの基本であると再認識。

2つ目は宇治田原町のMさん。地域の子供たちの見守り隊として大活躍中だが、最近の子供たちの下校時間にも、ちよくちよくお目にかかる。関東で子供の登校中に大きな事故があった。そのことを受けての見守りではないかと推察する。ボランティア活動は、行事をこなすだけでなく、活動の中身も考える必要があるのでは、が2つ目の教訓。

さて、コロナ禍の中でも、温暖化の進行は進み続けている。2050年二酸化炭素ゼロに向けて、人間の英知が結集される。住民の方に正しい温暖化対策の知識を提供できるよう、頑張りたい。

※事務局注：

「ボランティア(volunteer)」とは「自らの意志により(公共性の高い活動へ)参加する人又はその活動」のことであり、もともとの意味は「志願兵」である。混同されがちな「奉仕活動」のことではなく、「公共性、自発性、先駆性」が基本理念とされる。また、報酬を受けるボランティアも存在し、「ボランティア＝無償奉仕」ではない。

エコパートナーシップうじたわらの会員募集

エコパートナーシップうじたわらでは、いっしょに活動する会員を募集しています。

肩ひじ張らず、気軽に、自分のできる範囲で参加するのがエコパートナーの特徴です。関心のある方は役員や会員、事務局までお気軽にお申し出ください。

◆会員の区分

- ・個人会員＝町内にお住まいか、町内の事業所にお勤めで環境に関心のある人
- ・団体会員＝町内で活動する団体及び法人
- ・賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

◆会費

- ・個人会員・団体会員については、無料です。
- ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。

◆入会の方法

- ・入会申込書(町HPエコパートナーのコーナー)に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

◆部会

- ・広報部会・会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
- ・自然・生活環境部会・河川や動植物の学習会、自然環境体験ハイキング開催
- ・循環型社会・地球温暖化防止部会・生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等、エコクッキング等

お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局 (宇治田原町役場 建設環境課内)
〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字立川小字坂口 18-1

※町役場の移転に伴い事務局の住所も変わりました

TEL 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231 Eメール：junkan@town.ujitawara.lg.jp

会報のバックナンバーをご覧ください

宇治田原町役場ホームページ「トップ」⇒「環境衛生」⇒「エコパートナーシップうじたわら」
エコパートナーシップうじたわら facebook ページ公開中



茶文化の源 水・緑・生命の環^わを育む和みのまち 宇治田原